

■ ■ ■ 研究におけるデータ公開について(オプトアウトについて) ■ ■ ■

オプトアウトとは、平成29年5月30日施行の改正個人情報保護法の研究倫理指針において「診療情報等の情報のみを用いた研究」等については、インフォームド・コンセントを省略する代わりに、研究情報をホームページなどで通知・公開し、研究対象者等が拒否できる機会を保障する方法です。研究への希望をされない場合は、匿名化したデータを削除いたしますので、研究担当責任者までご連絡ください。

当院が行っている臨床研究【2019年4月現在】

研究課題名等	研究担当責任者
(FMC46-1201) 再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するユーエフテイ/ロイコボリン療法の臨床的有用性に関する研究	外科部長 山本 学
(JFMC47-1202-C3)(ACHIEVE Trial) Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXEROX療法における5-FU系抗がん剤及びオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験(本研究)	外科部長 山本 学
(JFMC47-1202-C3)(ACHIEVE Trial)(付随研究) Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤及びオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験(付随研究)	外科部長 山本 学
(KSCC1401) 切除不能RAS野生型大腸癌に対する1次療法としてのセツキシマブ+IRIS療法に関する第I/II相臨床試験	外科部長 山本 学
(KFCC1701) 高齢者進行・再発胃癌に対する1次治療としてのS-1+ラムシルマブ療法の多施設共同第II相試験	外科部長 山本 学
(EVOLVE Short DAPT試験) SYNERGYエベロリムス溶出型プラチナ・クロム合金製冠動脈ステントシステム(SYNERGYステント)により経皮的冠動脈形成術(PCI)を施行する出血リスクの高い被験者における3か月二剤抗血小板療法(DAPT)の安全性を評価する前向き多施設共同群試験	循環器センター長 横井 宏佳
(PENDULUM Registry) 経皮的冠動脈インターベンション施行患者を対象とした抗血小板療法による血栓性イベント、出血性イベント、血小板凝集抑制作用の実態調査	循環器センター長 横井 宏佳
(PENDULUM-mono試験) 出血リスクの高い経皮的冠動脈インターベンション施行患者を対象としたプラスグレル治療の研究	循環器センター長 横井 宏佳
(STAR-ACS) 心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の出血と血栓リスクに関する前向き観察研究(多施設共同研究)	循環器センター長 横井 宏佳
(SPADE Study) 子宮内膜症治療薬ジエノゲストおよび低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬がプロテインS比活性および凝固系に及ぼす影響	産婦人科部長 渡邊 良嗣

<p>(RYOUMA Registry) カテーテルアブレーションを施した非弁膜症性心房細動症例の抗凝固療法の実態とその予後に関する観察研究</p>	<p>ハートリズムセンター長 熊谷 浩一郎</p>
<p>Cryo AF グローバルレジストリ研究</p>	<p>ハートリズムセンター長 熊谷 浩一郎</p>
<p>(HARVEST Study) SATAKE・HotBalloonカテーテル使用症例に対する全国観察研究</p>	<p>ハートリズムセンター長 熊谷 浩一郎</p>
<p>当院における好酸球性食道炎の検討</p>	<p>消化器内科 原 裕一 小林 広幸</p>
<p>日本消化器内視鏡学会医療安全委員会「消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査」</p>	<p>消化器内科部長 副院長 小林 広幸</p>